



平成29年度 戦略的創造研究推進事業(社会技術研究開発) 「研究開発成果実装支援プログラム」

～提案書作成における留意事項～



Japan Science and Technology Agency

全体的な留意事項

「Ⅱ. プログラム総括の考え方」(P8～)

「Ⅲ. プログラムの概要」(P11～15)

「Ⅸ. 提案書の記入要領」(P69～78)

をよく読んでから提案書を作成してください。

提案書は記入要領で**指定枚数**で作成してください。

文字の大きさや飾りについては、**読みやすいように適宜変更**してかまいません。

評価者に伝わりやすいよう、わかりやすく記載してください。

採択予定件数と実装費(P13～14)

- 採択予定件数 4～8件程度
- 実装費（直接経費）
5百万円から10百万円以内／年（12ヶ月）
- ただし、平成29年度に関しては、活動期間が6ヶ月となりますので、実装費は、2.5百万円から5百万円以内。
- 間接経費は、直接経費の30%が上限。

実装支援の対象の満たすべき要件(P11～12)

事務事項説明（共通）、要件（P3～6）のほかに

- 実装活動の基となる研究開発（国等の公的研究開発資金）の成果があること（研究開発が終了段階に達していること）

→（様式2）実装活動の基となる研究開発成果 に記載

- 実装責任者が研究倫理教育に関するプログラムを修了していること（共同実施者は提案書提出時には不要）

応募の要件等(P4)

『自らの研究開発成果の実証を行う者の代表』

『社会の問題に取り組む当事者の代表』

• 連名で提案 一方:実装責任者、他方:共同実施者

→ (様式3-2 3.) 兼務の場合、実装活動の担い手となる機関のプロジェクト終了後の実装計画 を記載

様式1 (P70)

- 実装活動プロジェクト名は副題を付けず30字程度(以内)で作成してください。
- この要旨は審査のために最重要となりますので、すべての項目について、ポイントを押さえて簡潔かつ明確に記入してください。
- 支援期間は3年以内 (H29.10~H32.9) で設定してください。
- 協力組織 (受益者含む) は重要な要素です (P12)。

様式2 (P71~72)

- 実装活動の基になる研究開発成果をA4用紙2枚に記入してください。
- 特に「**提供を受けた公的資金名**」の項目は、必ず記入してください。**記入されない場合には、要件未達**となる可能性があります。
- 基となる研究開発成果の**使用許諾**は重要な判断要素です（特に**提案者が基となる研究代表者と異なる場合**）。

様式3 (P73~75)

- 実装活動の計画は指定枚数にまとめてください。
- **プロジェクト終了後の実装活動の自立的な継続のための計画**は重要な要素です。
- 資金計画は、実装費 **年間（12ヶ月）10百万円以内**で記載してください。初年度と最終年度は、**半年（6ヶ月）5百万円以内**で記載してください。
(P24~25 実装費もご参照ください)

様式4 (P76~77)

- 実装組織図は、全体的な見取り図を1枚にまとめてください。(P19~20 実施体制もご参照ください)

様式5 (P78)

- 実装責任者および共同実施者（提案者）の、**現在受けている、あるいは申請中（予定含む）**の他制度（競争的資金制度や財団等）での助成等を記載してください。
- 記入内容が事実と異なる場合には、採択されても後日取り消しとなる場合があります。
- 面接選考に進んだ場合は、最新の状況を提出していただきます。
- (P29~31 不合理な重複・過度の集中に対する措置もご参照ください)

「研究開発成果実装支援プログラム」



たくさんのご応募を
お待ちしております。

6月8日（木）正午 応募締切
(e-Radでの受付期限)